

## 評価事例 14

単 元 名	第6学年 Unit6 Let's think about our food.
単 元 の 目 標	おすすめのメニューに込めた自分の考えをよく知ってもらったり、相手の考えをよく知ったりするために、食材について、その場で質問したり質問に答えたりして伝え合うことができる。
言 語 活 動	校長先生へのおすすめのメニューをグループごとに考案し、校長先生に食べてほしいおすすめメニューを学級で選ぶ。グループごとに考えたメニューの良さを伝え合うために、食材について質問したり、質問に答えたりする。3人のグループでメニューを考案し、紹介する食材を分担する。考案したメニューを紹介するポスターを作成し、全てのグループとやり取りを行う。

### 評価の進め方

児童は3人のグループを作り、全てのグループとやり取りを行う。教員とALTは、やり取りの様子を見ながら分担して評価をする。

### 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> 食べ物、メニューなどを表す語句や ~ is from ~. ~ is in the ~ group.の表現について理解している。 <技能> おすすめのメニューについて、上記の語句や表現等を用いて、伝え合う技能を身に付けている。	おすすめのメニューに込めた自分の考えをよく知ってもらったり、相手の考えをよく知ったりするために、食材について、その場で質問をしたり質問に答えたりして伝え合っている。	おすすめのメニューに込めた自分の考えをよく知ってもらったり、相手の考えをよく知ったりするために、食材について、その場で質問をしたり質問に答えたりして伝え合おうとしている。



### 思考・判断・表現の判断基準

A：十分満足できる状況	「B」に加えて、既習の語句や表現を使って、対話を続けるために、更に詳しく質問したり、質問に答えたりしている。
B：おおむね満足できる状況	おすすめメニューについて、食材やその産地、栄養素のグループを伝えたり、相手の話を聞き取ってその場で質問したり、質問に答えたりしている。
C：努力を要する状況	「B」を満たしていない。

### 評価例 (S = 児童, T = 教員)

Aとなる例	Bとなる例	Cとなる例
S1: This is our beef bowl. (米のイラストを示しながら) The rice is in the yellow group. S2: Where is the rice from? S1: The rice is from Niigata. It is delicious. Do you like beef bowl?① S2: Yes, I do. I like ○○(店名).②	S1: This is our beef bowl. The onion is in the green group. (タマネギのイラストを示しながら) S2: Where is the onion from? S1: The onion is from Hokkaido. It's delicious.	S1: This is our beef bowl. ... (牛肉のイラストを示している。) T: 栄養素のグループは何ですか。 S1: The beef is ... S2: ... T: 牛肉の産地を尋ねてみましょう。 S2: Beef? S1: The beef is from Tome.
<b>理由</b> S1は、食材や栄養素のグループを伝え、S2の産地を尋ねる質問に答えているだけでなく、①Do you like beef bowl?と更に詳しく質問している。 S2は、食材を聞き取り、その場で産地を質問しているだけでなく、①の質問に応じて、②Yes, I do. I like ○○(店名).と更に詳しく答えている。	<b>理由</b> S1は、食材や栄養素のグループを伝えるとともに、S2の産地を尋ねる質問に答えている。 S2は、食材を聞き取り、その場で産地を質問している。 メニューの良さについては、It's delicious.や It's healthy.などを付け加えたり、日本語で説明したりすることも考えられる。	<b>理由</b> S1は、食材や産地を伝えているが、栄養素のグループを伝えていないため、そのメニューを勧める理由が伝わらない。 S2は、イラストを見て食材を推測しているが、食材の産地を尋ねる質問をしていないため、メニューについてよく知ることができない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         「C：努力を要する状況」と判断した児童に対する指導や支援については、「指導・支援アイデア集」を参照                     </div>

### 指導のポイント

- ・校長先生の好きな食べ物や嫌いな食べ物などについてインタビューする時間を設ける。
- ・家庭科の教科書やタブレット端末等を活用し、食材や産地、栄養素のグループについて調べ学習をする時間を設ける。